第5章　重点プロジェクト

本区の地域特性や環境の課題などを踏まえ設定した本環境計画の ４ つの基本目標と１つの共通目標を達成する上で、重点的かつ計画的な展開を図っていく必要のある主要なテーマを『重点プロジェクト』に位置付け、推進します。

1　重点プロジェクトの選び方

重点プロジェクトは、以下の方針に則り選定しました。

＜重点プロジェクトの選定方針＞

（必須項目）

○　基本目標と共通目標を強力に牽引するものであること。

○　本計画の計画期間中に実現可能なものであること。

○　取り組みの効果が区民に「見える」ものであること。

（任意項目）

○　普及啓発、教育などの波及効果が期待できるものであること。

○　区民・事業者が参加可能なものであること。

2　重点プロジェクトの概要

前述の方針に則り、下表に示すとおり各基本目標および共通目標に１つずつ、計５つの重点プロジェクトを選定しました。

基本目標・共通目標	プロジェクト名称	概要
基本目標1（地球環境） 持続可能な地域社会を実現する	重点プロジェクト１ **民間活力を活用した再生可能エネルギーの導入推進プロジェクト**	区の施設、民間の施設などへの再生可能エネルギーの導入促進を図るため、民間の活力（知恵、技術、資金など）を活用する仕組みを検討します。
基本目標2（自然環境） 水とみどりがつなぐまちを実現する	重点プロジェクト２ **水質改善による水辺の魅力アッププロジェクト**	勝島運河の水質悪化の原因となっている大雨時の初期雨水放流を防ぐため、一時的に初期雨水を貯留する施設整備を実施し、勝島運河の水質改善を図ります。 これにより、人がふれあい親しめる水環境の実現の促進を目指します。
基本目標3（生活環境） 健全でやすらぎのある生活環境を実現する	重点プロジェクト３ **電気自動車等の有効活用プロジェクト**	区として、率先して電気自動車等を有効活用する方策を検討し、電気自動車等の普及を促進することを目的とします。 また、庁有車として電気自動車を導入する場合には、非常時の「蓄電池」として位置付け、区内に分散電源を確保することを目指します。
基本目標4（快適環境） 快適で豊かなまちをみんなで伝え創り育てる	重点プロジェクト４ **身近にある「大切な環境」発見プロジェクト**	区民が身近にある「大切な環境」に気づき、目を向けてもらうために、「身近にある大切な環境コンテスト」の開催を目指します。 発掘された大切な環境は、地域で共有し、地域の「環境資源」にまで育て、それらを区のまちづくりや環境行政に反映していきます。
共通目標 環境教育・環境コミュニケーションを充実する	重点プロジェクト５ **体験型環境学習の充実プロジェクト**	小中学生や地域を対象に、環境行政の「現場」を体感できる体験型環境学習プログラムを立案し、学校教育や地域活動との連携を目指します。

3　各重点プロジェクトの内容

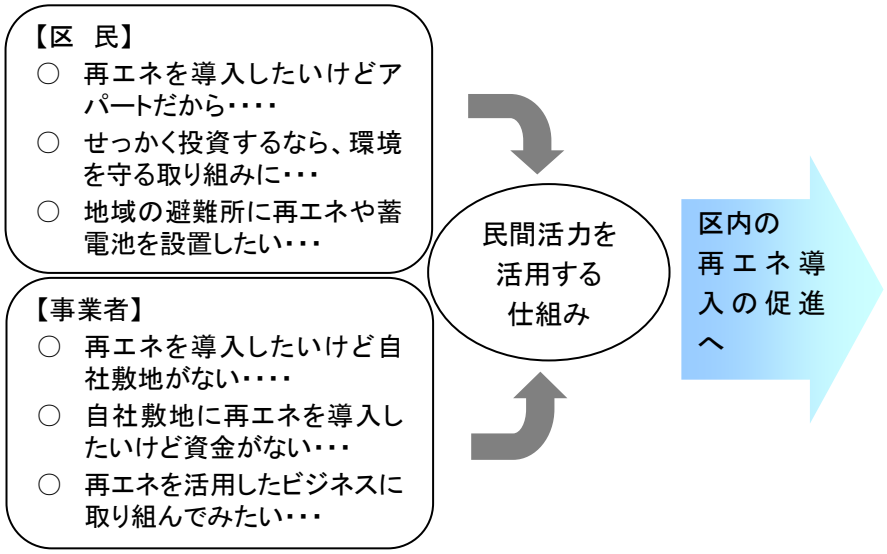
５つの重点プロジェクトの詳細な内容を、次ページ以降に示します。

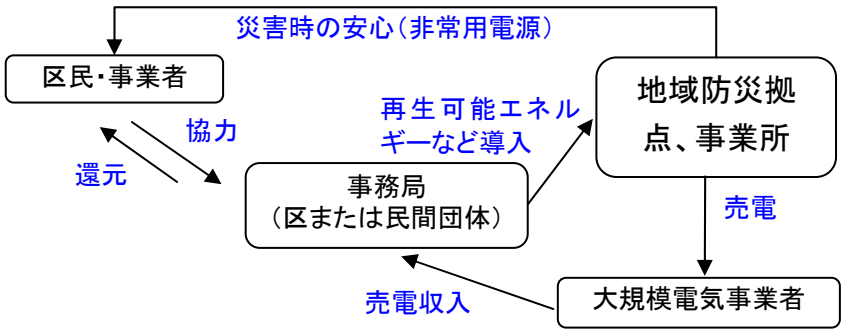
重点プロジェクト１　民間活力を活用した再生可能エネルギーの導入推進プロジェクト

(1)　基本目標等との関係

基本目標	基本目標１（地球環境）　持続可能な地域社会を実現する
関連施策	【施策の方向性】　地球温暖化を防ぐ仕組みを作る ・区民などが参加可能な再生可能エネルギー導入の仕組みの検討 ・他自治体との連携による取り組みの検討 【施策の方向性】　低炭素のまちをつくる ・家庭や事業所、公共施設への再生可能エネルギーなどの導入推進 ・防災拠点における災害時のエネルギーの自立を検討
関連計画	品川区地球温暖化対策地域推進計画 品川区地球温暖化防止対策実行計画（第三次）
関連指標･目標	公共施設への再生可能エネルギー導入量 目標値：平成 34 年度（2022 年度）までに導入施設数の増

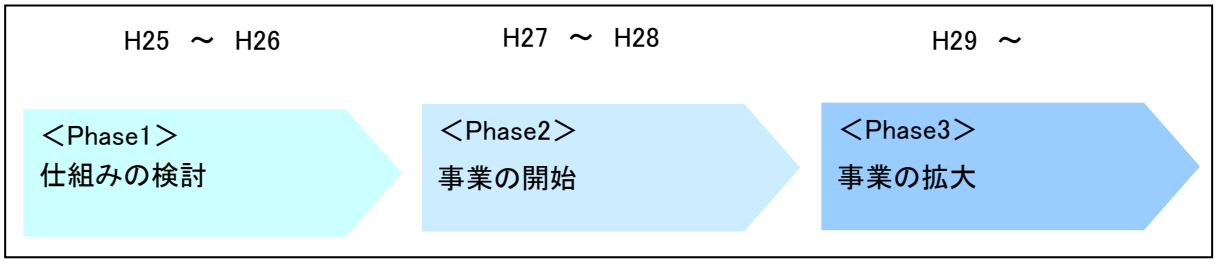
(2)　プロジェクトの内容

目的	・民間の活力を活用し、区内への再生可能エネルギーの導入を促進することを目的とします。
内容	・区の施設、民間の施設などへの再生可能エネルギーの導入促進を図るため、民間の活力（知恵、技術、資金など）を活用する仕組みを検討します。 ・区民参加の仕組みを検討する際は、住宅事情などにより、再生可能エネルギーを導入したくてもできない区民の参加機会（受け皿）となるよう配慮します。 ・事業者参加の仕組みを検討する際は、地域産業の活性化に寄与することを意識します。 ・その他に、土地の制約などから、区内への再生可能エネルギーの導入には限界があることから、区外との連携も模索します。 

検討例	このプロジェクトにおける「検討例」を以下に示します。 検討例①　区民参加による地域防災拠点への自立型電源の導入 地域の防災拠点となる施設（地域センター・学校など）への自立型電源の確保において、区民参加による再生可能エネルギーや蓄電池、コージェネレーション*システムなどを設置する仕組みを検討。 検討例②　事業所や工場の屋根などへの再生可能エネルギー導入 屋根や空地など、再エネを導入可能な空間を有している事業者（区も含む）に対して、導入に協力可能な区民や事業者をマッチングする仕組みを検討。 検討例③　他自治体との連携による再生可能エネルギー導入 周辺自治体や姉妹都市、東日本大震災の被災地域などとの連携を模索し、区内の民間活力を区外において活用する仕組みを検討。  ＜検討例①②の仕組みのイメージ＞
実施主体	区　⇒　仕組み検討、事務局機能、公共施設敷地の貸与 区民・地域団体　⇒　仕組みへの参加・活用 事業者　⇒　仕組みへの参加・活用
環境保全・創出の効果	・エネルギー由来の温室効果ガス排出量の低減 ・再生可能エネルギーの普及啓発
その他の効果	・公共施設の災害時の電源確保

(3)　ロードマップ

プロジェクトは、下図に示す工程で推進します。



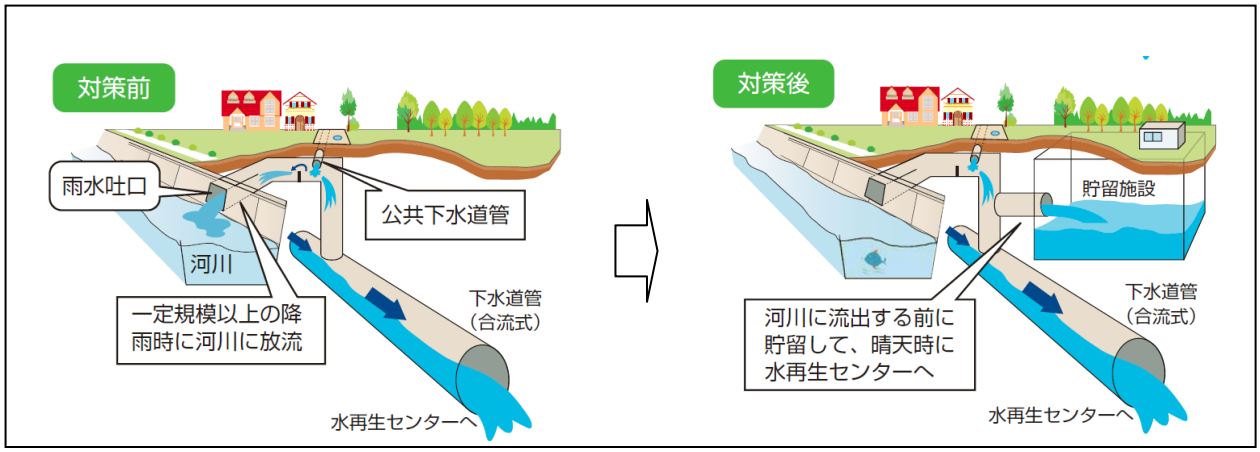
重点プロジェクト２　水質改善による水辺の魅力アッププロジェクト

(1)　基本目標等との関係

基本目標	基本目標２（自然環境）　水とみどりがつなぐまちを実現する
関連施策	【施策の方向性】　水とみどりを守り育てる ・河川・運河の水質改善 【施策の方向性】　水とみどりが身近にある豊かな暮らしをつくる ・水辺空間の整備・活用 【施策の方向性】　品川らしい水とみどりを継承しまちづくりに活かす ・水とみどりを活かしたにぎわいづくり
関連計画	水とみどりの基本計画・行動計画
関連指標･目標	河川および運河における環境基準の達成状況 目標値：全地点において環境基準達成を維持

(2)　プロジェクトの内容

目的	・勝島運河では、大雨時に汚水混じりの雨水が下水道から放流されているため、運河内の水質悪化が問題となっています。 ・この問題を解決し、水質を改善することを目的として、「勝島運河雨水貯留施設建設工事」に取り組みます。
内容	＜勝島運河雨水貯留施設建設工事の内容＞ 合流式下水道では、水再生センターの処理能力を超える量の雨水は、下水道から河川などへ放流される構造となっています。勝島運河においても、しながわ区民公園下の潮通し管を通って大雨時に汚水混じりの雨水が放流されています。 その対策のため、放流される雨水のうち特に汚濁負荷の高い初期の放流雨水を貯留し、天候回復後、水再生センターで処理するための「貯留施設（貯留管）」を設置します。 ＜貯留管の諸元＞ 内径φ2,200 ㎜、延長約 1,302m、計画貯留量 4,750 ㎥
実施主体	区（東京都下水道局からの受託事業）
環境保全・創出の効果	・運河への汚水混じりの雨水放流が減ることによる水質改善効果
その他の効果	・水辺の利活用の促進 ・しながわ花海道など水辺空間のイメージアップ

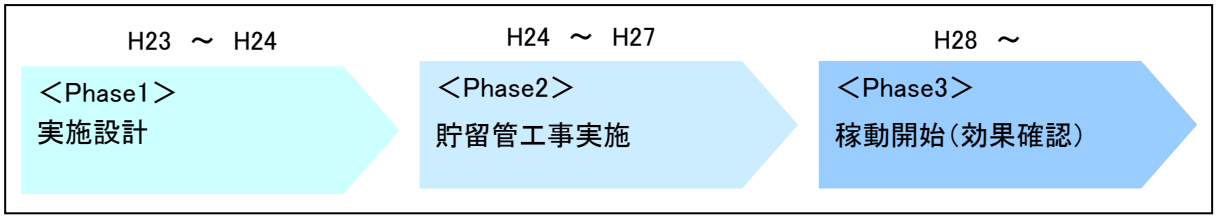


資料）東京都下水道事業経営計画 2010

＜貯留施設による合流式下水道の改善対策のイメージ＞

(3)　ロードマップ

プロジェクトは、下図に示す工程で推進します。



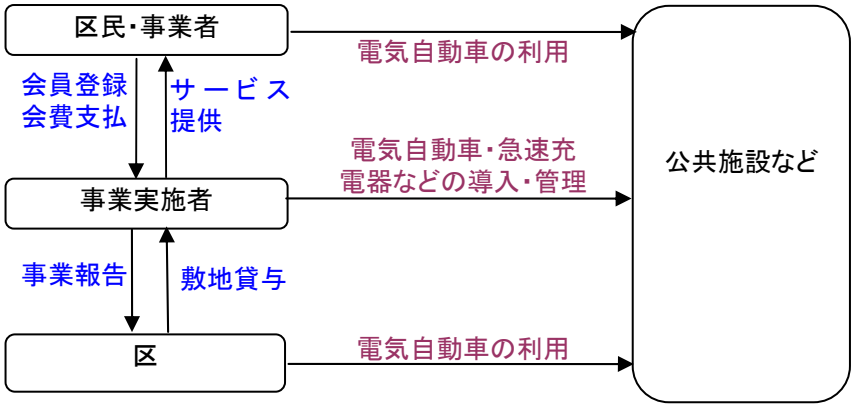
重点プロジェクト３　電気自動車等の有効活用プロジェクト

(1)　基本目標等との関係

基本目標	基本目標１（地球環境）　持続可能な地域社会を実現する 基本目標３（生活環境）　健全でやすらぎのある生活環境を実現する
関連施策	【施策の方向性】　低炭素のまちをつくる ・防災拠点における災害時のエネルギーの自立を検討 ・環境配慮型自動車の利用促進および有効活用の検討 【施策の方向性】　きれいな空気を守る ・自動車排出ガスに対する対策の推進
関連計画	品川区地球温暖化対策地域推進計画 品川区地球温暖化防止対策実行計画（第三次）
関連指標･目標	大気測定局における環境基準の達成状況 目標値：平成 34 年度（2022 年度）までに全局で環境基準を達成

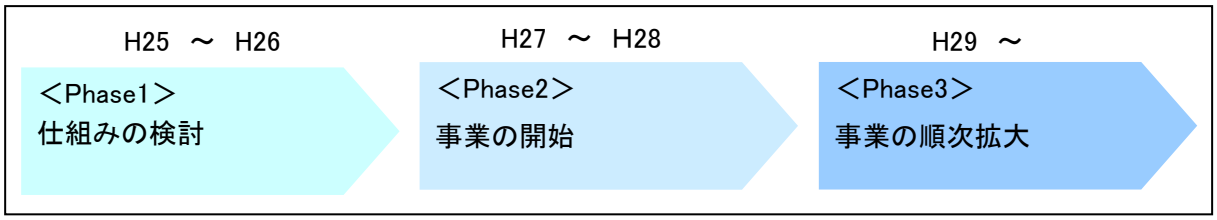
(2)　プロジェクトの内容

目的	・区として、率先して電気自動車等を有効活用する方策を検討し、電気自動車等の普及を促進することを目的とします。 ・庁有車として電気自動車を導入する場合には、非常時の「蓄電池」として位置付け、区内に分散電源を確保することも目的とします。
内容	・庁有車として「電気自動車等」を率先して導入・活用することを目指します。 ・庁有車として「電気自動車」を導入する際は、大規模災害などの非常時に「蓄電池」として活用することを見込み、区内における「配置」や「有事の運用方法」を併せて検討します。 ・カーシェアリング事業などを検討する際は、区内事業者の参入を促し、地域産業の活性化につなげることに配慮します。

検討例	このプロジェクトにおける検討例を以下に示します。これらはあくまで「事例」であり、これにとらわれず、実現性が高く効果が大きい仕組みを検討します。 検討例　公共施設などを活用した「電気自動車カーシェアリング事業」 ・ 区内の公共施設敷地（駐車場など）を活用した「電気自動車カーシェアリング事業」を検討。 ・ 事業の実施主体は「民間事業者」とし、区から公共施設の敷地の貸与を受けることを想定。  **＜公共施設などを活用した電気自動車カーシェアリング事業のイメージ＞**
実施主体	区　⇒　庁有車としての電気自動車等の導入推進、電気自動車等を活用した事業仕組みの検討、事業の運営支援 区民　⇒　電気自動車の導入検討、区が実施する事業への参加協力 事業者　⇒　電気自動車の導入検討、区が実施する事業の事業主体としてまたは利用者として参加
環境保全・創出の効果	・ 大気汚染・騒音の低減、温室効果ガス排出の抑制 ・ 電気自動車の普及促進
その他の効果	・ 区内産業の活性化 ・ 区内公共施設への分散電源の配備（災害時の備え）

(3)　ロードマップ

プロジェクトは、下図に示す工程で推進します。



重点プロジェクト４　身近にある「大切な環境」発見プロジェクト

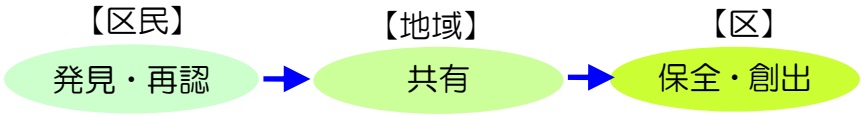
(1)　基本目標等との関係

基本目標	基本目標４（快適環境）　快適で豊かなまちをみんなで伝え創り育てる
関連施策	【施策の方向性】　魅力ある街並みをつくる ・身近な環境資源の発掘・創出の推進
関連計画	―
関連指標･目標	コンテストの開催の実現、応募者数などが進捗管理の対象となります

(2)　プロジェクトの内容

目的

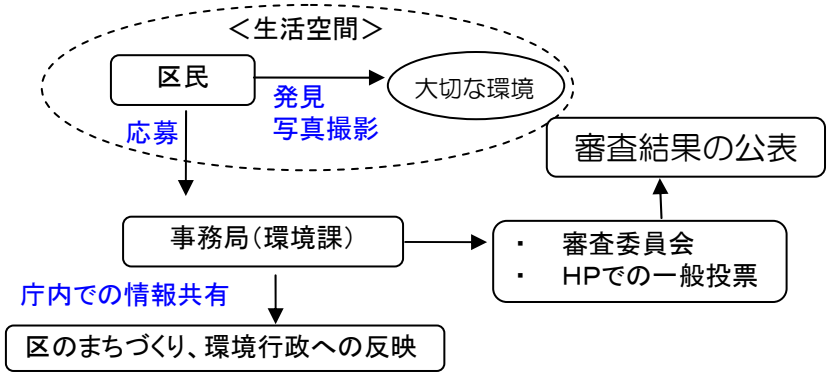
- 第１段階として、区民のみなさんが身近にある「大切な環境」に気づき、目を向けてもらうことを目的とします。
- 第２段階として、これらを地域で共有し、地域の「環境資源」にまで育てます（公表、町内会や商店街などとの連携）。
- 最終段階として、それらを区のまちづくりや環境行政に反映していきます。



＜プロジェクトの流れ＞

内容

- 日常の身近なところに、自分だけの「大切な環境」を持つことで、環境への関心を高めるとともに、それを地域で共有し、新たな環境資源を発見し育てることを目的に実施します。
- 「身近にある大切な環境コンテスト」の開催を検討します。自分認定の「大切な環境」（通勤路沿いに咲く花、家のベランダから見る青空、学校の校庭の大木など、身近な生活の中で大切と感じられる環境）の写真とコメントを募集し、区の HP で公開などを行います。
- 「大切な環境」は、町内会や商店街などと連携し、より地域に密着した「環境資源」として育てていくことを検討します。
- 寄せられた情報は、区の街並み整備や環境保全・創出の方針に反映していきます。

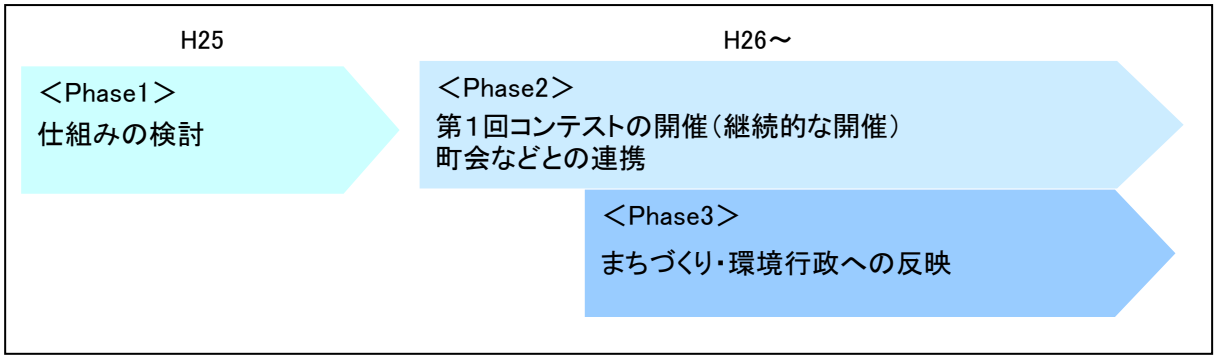


＜プロジェクトのメージ＞

実施主体	区　⇒　事務局 区民　⇒　コンテストへの参加 町内会、商店街など　⇒　地域の「大切な環境」のＰＲ
環境保全･創出の効果	・ 新たな「環境資源」の発掘 ・ 区民意識の向上 ・ 地域の環境保全・創出に対する連帯感の醸成
その他の効果	・ まちづくりへの区民視点の取り込み

(3)　ロードマップ

プロジェクトは、下図に示す工程で推進します。

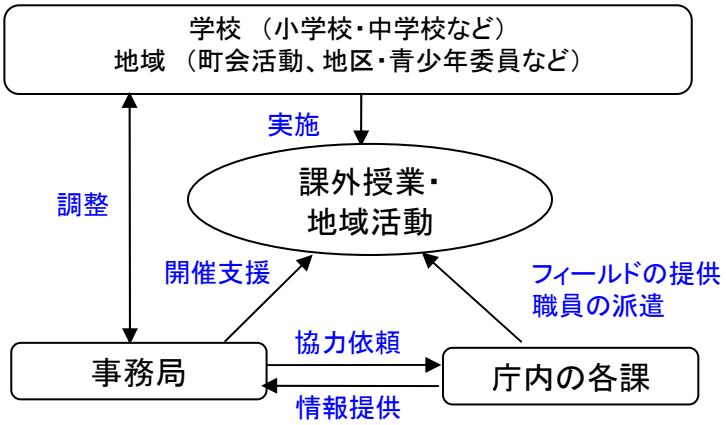


重点プロジェクト５　体験型環境学習の充実プロジェクト

(1)　基本目標等との関係

基本目標	共通目標　環境教育・環境コミュニケーションを充実する
関連施策	【施策の方向性】　環境学習を推進する ・学校などにおける環境教育の推進
関連計画	―
関連指標･目標	体験型環境学習機会の提供 目標値：年間１回以上開催

(2)　プロジェクトの内容

目的	・小中学生・地域住民が、環境行政の「現場」を体験し、環境保全活動の「実際」を見て聞いて体験することで、環境への理解を深め、自分なりに環境について考えるきっかけとなることを目指します。
内容	・学校（小中学校の課外授業など）・地域（町会活動、地区・青少年委員など）を対象に、区内における環境行政の「現場」をフィールドとして提供し、主管部署の協力を得ながら、具体的な体験ができる機会を創出することを検討します。 ・対象とする現場としては、「大気や水質などの測定・調査の現場」や「工事の現場」、「公園管理の現場」など、区が実施する環境保全・創出に関する取り組み現場を対象とします。 ・区として、より「生」の体験ができることに配慮し、「環境」に対する正しい知識の取得を目指します。  **＜プロジェクトのイメージ＞**
実施主体	区　⇒　現場の提供、職員の派遣、授業・活動の開催支援 学校　⇒　事業の受け入れ、授業の実施 地域　⇒　町会や地区・青少年委員などによる支援

環境保全･創出の効果	・ 参加者の「環境理解度」の向上 ・ 授業・活動の受け入れによる職員の意識の向上
その他の効果	・ 公共事業全般に対する理解度の向上

(3)　ロードマップ

プロジェクトは、下図に示す工程で推進します。

H25	H26 ～ H27	H28 ～
＜Phase1＞ 仕組みの検討 関係機関との協議	＜Phase2＞ 一部学校を対象とした 先行実施	＜Phase3＞ 対象の順次拡大